



仙台市水道局キャラクター

ウォーターくん

平成 31 年度事業計画

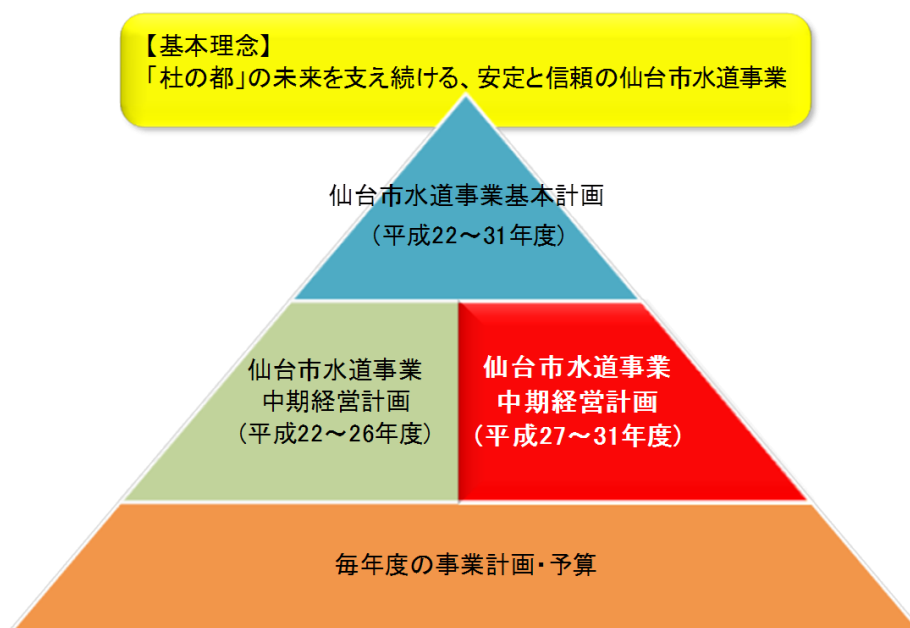
仙台市水道局

1. はじめに

- 仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」（以下「前期計画」という。）に基づき、各年度の事業に取り組んできました。このたび、前期計画期間の満了に当たり、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災という未曾有の災害に直面した経験と教訓、そして現状と新たな課題を踏まえつつ、基本理念の実現に向けた施策や事業を推進していくため、後半 5 年間の「仙台市水道事業中期経営計画（平成 27～31 年度）」を策定し、事業に取り組んでいます。

このたび、平成 31 年度における事業計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 仙台市水道事業の計画体系



2. 予算の概況

- 本市水道事業は、これまでの経営の効率化に向けた取り組みにより、健全な財務状況を維持しておりますが、震災後に流入が続いた給水人口が今後数年程度で減少に転じることが見込まれ、給水収益の減少が想定される一方、高度成長期等に集中的に整備した管路や主要浄水場の 1 つである国見浄水場が順次更新時期を迎えるなど、老朽施設の更新需要が増大し、今後の経営状況は厳しさを増していく見通しとなっております。
- このような事業環境の変化に対応していくため、本年度は、今後 10 年間の事業運営方針となる基本計画と前期の実行計画となる中期経営計画を策定するとともに、将来を見据えた適切な資産管理のためのアセットマネジメントの取り組みを推進してまいります。また、管路・施設の耐震化をはじめとした災害対策や、施設の機能維持のための更新・改良工事等に引き続き取り組んでまいります。
- 今後とも計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め、安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて、お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。



3. 事業計画

1. 事業計画

区 分	単位	平成 31 年度 当初予算 (C)	平成 30 年度 補正後予算 (D)	増減(△減) (C)－(D)	比率(%) (C)/(D)
年間総配水量 (A)	m ³	119,945,000	119,530,000	415,000	100.3
(仙台市配水量)	m ³	(115,813,000)	(115,384,000)	(429,000)	(100.4)
(他市町分水量)	m ³	(4,132,000)	(4,146,000)	(△ 14,000)	(99.7)
一日最大配水量	m ³	357,100	359,172	△ 2,072	99.4
一日平均配水量	m ³	327,720	327,480	240	100.1
年間有収水量 (B)	m ³	113,472,000	113,197,000	275,000	100.2
有収率 (B)/(A)	%	94.6	94.7	△ 0.1	99.9
使用給水栓数	栓	464,000	459,000	5,000	101.1
職員数 (管理者除く)	人	413	411	2	100.5



4. 財政状況

(1) 収益的収支

- 水道水をつくり，ご家庭にお届けするための財源と経費です。

収入 280億3,000万円

お客さまからの水道料金 232億7,300万円	その他 47億 5,700万円
----------------------------	-----------------------

支出 267億2,800万円

人件費 34億 7,500万円	物件費など 81億8,800万円	受水費 59億8,300万円	減価償却費 81億1,500万円	純利益 13億200万円
-----------------------	---------------------	-------------------	---------------------	--------------

支払利息 9億6,700万円
国などからの借入金の利息の返済

県などから浄水を購入するための費用
水道施設などの資産価値の目減り分を毎年の費用として計上したもの

(2) 資本的収支

- 水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

収入 62億800万円

企業債 45億円	その他 17億 800万円	損益勘定留保資金 など 106億8,000万円
-------------	---------------------	----------------------------

施設の建設・改良工事のために国などから借りるお金

減価償却費などの現金支出を伴わない費用などを充当

支出 168億8,800万円

建設改良費 106億5,500万円	企業債償還金 62億3,300万円
----------------------	----------------------

施設の建設・改良工事のための費用

国などからの借入金の元金の返済

(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位 千円)

区 分 科 目	平成31年度 当初予算	平成30年度 補正後予算	増減(△減)	比率(%)
水道事業収益	28,030,373	28,172,831	△ 142,458	99.5
営業収益	24,918,272	24,953,035	△ 34,763	99.9
給水収益	23,846,783	23,715,271	131,512	100.6
受託工事収益ほか	1,071,489	1,237,764	△ 166,275	86.6
営業外収益	3,109,447	3,215,549	△ 106,102	96.7
水道加入金	1,202,960	1,461,542	△ 258,582	82.3
他会計補助金	360,405	350,460	9,945	102.8
長期前受金戻入	1,359,059	1,336,304	22,755	101.7
不動産賃貸料ほか	187,023	67,243	119,780	278.1
特別利益	2,654	4,247	△ 1,593	62.5
水道事業費用	26,728,151	25,017,039	1,711,112	106.8
営業費用	25,687,299	23,736,912	1,950,387	108.2
人件費	3,474,861	3,167,800	307,061	109.7
物件費	7,359,781	6,600,106	759,675	111.5
受水費	5,983,114	6,001,175	△ 18,061	99.7
減価償却費ほか	8,869,543	7,967,831	901,712	111.3
営業外費用	970,963	1,051,520	△ 80,557	92.3
支払利息	967,274	1,048,699	△ 81,425	92.2
雑支出	3,689	2,821	868	130.8
特別損失	39,889	198,607	△ 158,718	20.1
予備費	30,000	30,000	0	100.0
当年度純損益(税抜き)	1,302,222	3,155,792	△ 1,853,570	41.3

(注) 消費税及び地方消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位 千円)

科目 \ 区分	平成31年度 当初予算額	平成30年度 補正後予算額	増減額(△減)	比率(%)
水道事業資本的収入	6,207,670	6,536,613	△ 328,943	95.0
企業債	4,500,000	4,500,000	0	100.0
固定資産売却代金	7,730	3,154	4,576	245.1
出資金	454,018	635,708	△ 181,690	71.4
国庫補助金	835,556	1,014,820	△ 179,264	82.3
開発負担金	336,448	288,036	48,412	116.8
負担金	53,345	89,619	△ 36,274	59.5
その他資本的収入	20,573	5,276	15,297	389.9
水道事業資本的支出	16,887,950	16,278,361	609,589	103.7
建設改良費	10,655,445	10,552,329	103,116	101.0
配水管整備事業費	6,202,014	5,849,990	352,024	106.0
施設整備事業費	4,235,832	4,478,780	△ 242,948	94.6
受託等工事費	217,599	223,559	△ 5,960	97.3
企業債償還金	6,232,505	5,726,032	506,473	108.8
差引	△10,680,280	△ 9,741,748	△ 938,532	109.6

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

5. 主な実施事業

- 平成 31 年度の主な事業を「水道事業中期経営計画」における 2 つの『目指すべき将来像』に沿ってご紹介します。※【 】内の金額は平成 31 年度の当初予算額です。

1 強くて安心な水道

(1) 災害に強い施設・システムの整備

- 管路の耐震化【約 55 億 5,600 万円】

老朽化した送配水管路を耐震性に優れた管で更新し、管路の耐震性を向上させます。特に、災害拠点病院等重要施設への配水管路を優先的に耐震化します。



管路の更新工事

- 浄・配水施設の耐震化【約 6 億 8,700 万円】

茂庭浄水場配水池や濃縮槽・汚泥貯留槽等の耐震補強工事を行います。

- 災害時水運用機能の強化【約 2 億 1,300 万円】

災害時等の影響区域の縮小や早期復旧などを図るため、現在 133 ある配水ブロックの細分化と再編に係る施設整備や、配水幹線への仕切弁設置工事を行います。

(2) 災害対応力の強化

- 災害時給水栓の設置【約 2,800 万円】

大規模災害時に地域の皆様が自ら給水所を開設・利用できるよう、市立小中学校 14 校に災害時給水栓を設置します。

- 非常用自家発電設備の更新等【約 3 億 8,500 万円】

災害時などの長期停電に備え、主要な送配水施設の非常用自家発電設備の更新・新設を行い、運転時間を増強します。



災害時給水栓

(3) 水質管理の徹底

- 水質管理の充実・強化

水質 GLP (※) に基づいた水質検査の精度管理・教育研修を引き続き実施していきます。

※水質検査結果の精度と信頼性を確保するための認定基準。仙台市水道局では平成 18 年度に認定を受け、平成 30 年度に 3 度目の更新を行いました。

2 エコで持続可能な水道

(1) 環境に配慮した事業の推進

- 省エネルギー型機器への切り替え等【約 5 億 6,600 万円】※老朽更新費用を含む
将監送水ポンプ場などの受変電設備更新や本庁舎の照明設備更新など，省エネルギー型機器への切り替えを推進します。
- 次世代自動車等の導入【約 450 万円】
公用車の更新に合わせ，次世代自動車等への切り替えを推進します。

(2) お客さま本位の事業の推進

- 体験・交流型広報の充実
水道事業に対するお客さまの理解を深め，信頼を確かなものとするため，水道フェアや各種ツアーなどを引き続き実施します。

(3) 経営マネジメントの推進

- アセットマネジメントの推進
水道施設の適切な維持管理や計画的な更新など，アセットマネジメントの取り組みを更に推進するため，水道施設の情報を管理するシステムを構築していきます。

